



オレンジリボンキャンペーンとは？

11月は児童虐待防止推進月間

標語「助けての小さなサイン 受け止めて」

児童虐待防止推進月間に合わせて、児童虐待防止のシンボルマークである「オレンジリボン」を広げるキャンペーンが全国的に行われます。豊橋では、全国的な啓発活動とともに、「オレンジリボンキャンペーンとよはし」を11月10日から開始し、市内全体の児童虐待防止に対する理解が深まることを目指しています。

問合せ 子育て支援課 ☎51・2327

オレンジリボンキャンペーンとよはし

子ども未来館こここを

オレンジライトアップ

とき 11月10日(月)・14日(金)・21日(金)・28日(金)

とき

みんなでつくるオレンジリボンツリー

とき 11月10日(月)～30日(日) 内容 こと

も未来館ここここと市役所に飾ります

オレンジリボン街頭キャンペーン

とき 11月10日(月) ところ 豊橋駅前

児童虐待防止講演会

とき 11月18日(火)午後1時 ところ

市役所講堂(東館13階) 内容 子ども

虐待の早期発見と子どもへの支援「こ

ころの問題」を中心に、講師 西澤

哲さん(山梨県立大学教授) 定員 30

人程度(申込順) 申し込み 11月7日

までに子育て支援課 ☎51・2327

オレンジリボンキャンペーン

IN イトーヨーカ堂

とき 11月22日(土)午前11時、午後1時

30分 ところ イトーヨーカ堂(藤沢

町) 内容 乳幼児ゆさぶられ症候群

のデモンストレーションとDVD上映。

オレンジ色スーパースポーツ(小学

生以下) 参加料 無料

※乳幼児ゆさぶられ症候群は、周りか

ら見て「あんなことをしたら、子ども

が危険だ」と誰もが思うほど激しく乳

幼児がゆさぶられた時に起こる重症な

頭部障害です。(日本小児学会、パンフレ

ットより抜粋)



オレンジリボン運動とは？

「子ども虐待防止」の象徴として「オレンジリボン」を広める市民運動です。「オレンジリボン」には、子どもの虐待の現状を広く知らせ、子どもの虐待を防止し、虐待を受けた子どもが幸福になれるように、という気持ちが込められています。



キャンペーンパンフレット

心配なときは相談してください

子どもへの虐待かなと疑ったり、発見したりした場合はご相談ください。通告した人のプライバシーは守られます。たとえ虐待でなくても罰せられることはありません。

虐待の相談窓口

子育て支援課 ☎51・2327

家庭児童相談室 ☎54・7830

東三河児童相談センター ☎54・6465

各地区の民生児童委員、主任児童委員

その他の相談窓口

子育てなどの悩みや不安、心配なこと

母子保健センター ☎51・2375

吉田方子育て支援センター ☎33・11

35、東山子どもセンター ☎41・5

344、各保育園、幼稚園

教育相談

教育会館 ☎33・2115



11月9日～15日は愛市憲章週間 11月11日は「市民の日」

問合せ先

豊橋市民愛市憲章推進協議会
☎ 56・11228

昭和38年に「豊橋市民愛市憲章」が制定されて以来11月11日を「市民の日」と定め、安心で住みよい町づくりのため、町自治会、各種団体、学校など市民一体となって実践活動を進めています。

1 よく働き豊かな町をつくりましょう
日比敏雄(73歳・津田校区)

食糧の危機や自給率の低下が叫ばれる中、稲作農家の模範として稲作の省力化に研究を重ね、直播栽培を取り入れるなど効率的な農業経営に取り組んでいる。

愛市憲章賞受賞者※敬称略
1 心をあわせ美しい町をつくりましょう

1 愛情をもちあたたかい町をつくりましょう
藤ノ花女子高等学校校歌曲部(部長 上野保奈美)

中部中学校区青少年健全育成会(会長 林尚彦)
中部中学校生や校区の更生保護女性会と、中心市街地で特に落書きが目立つ狭間公園(はざま)周辺のベンチや民家などの壁の落書きを消すなど環境美化活動に努めている。

23年の長きにわたり、老人ホームつつじ荘に入所しているお年寄りに琴の演奏とおし楽しいひと時を過ごしてもらうなどの慰問活動に頑張っている。

「市民愛市憲章」を実践しましょう

愛市憲章の5項目は、いずれも平易な日常生活のあり方をかかげたものです。身近な生活の中からはじめましょう。

- 1 心をあわせ美しい町をつくりましょう
- 1 よく働き豊かな町をつくりましょう
- 1 愛情をもちあたたかい町をつくりましょう
- 1 きまわりを守り明るい町をつくりましょう
- 1 教養をたかめ文化の町をつくりましょう

新荻原町実行委員会(委員長 竹之内昌幸)

未来ある子どもたちの「ふるさと」づくりと町民の親交を図るため、納涼祭や町民祭などの催しをとおしあたたかい町づくりに取り組んでいる。

水谷十三郎(75歳・二川南校区)
親子のあたたかいふれあいを取り戻そうと各地区の子ども会のイベントなどで竹細工やストロー細工などによる親子ふれあい教室を催すなど、あたたかい町づくりに貢献をしている。

内山秀之(82歳・鷹丘校区)
長年にわたり、福祉協議会のボランティアとして地域福祉センターのデイサービスでお年寄りの介護などに頑張っている。

1 きまわりを守り明るい町をつくりましょう
石原宗光(81歳・牛川校区)

長年にわたり、お年寄りを対象とした交通事故防止の講演活動を行う一方、牛川小学校や青陵中学校の子ども達の交通安全指導に当たるなど交通事故防止活動に取り組んでいる。

中村欣弘(71歳・牟呂校区)

長年にわたり、牟呂小・中学校の子ども達の登下校時に交通安全指導に携わる一方、犯罪抑止のために地域を見まわるなどあかるい町づくりに取り組んでいる。

1 教養をたかめ文化の町をつくりましょう
中西靖夫(65歳・西郷校区)

地域に自生する「かたくり」の栽培管理の講演、青い目の人形「ネタ」由来の学童劇、校区内の史跡・古墳の探訪などの企画をとおし校区民の文化意識の向上に貢献をしている。

琴城流大正琴振興会豊橋支部(支部長 田辺福夫)

大正琴をとおし、楽しい音楽体験と人の和を大切に、市民館まつりでの演奏などボランティア活動に関わる一方、市域を越えての交流など音楽文化の振興に寄与している。

佐久間尚哉(79歳・牛川校区)

長年にわたり、豊橋素人歌舞伎保存会の中心となり、歌舞伎に対する理解と後継者の育成に努める一方、豊橋まつりなどへ参加するなど歌舞伎文化の保存継承に取り組んでいる。

宮城金男(75歳・賀茂校区)

長年にわたり、「ひょうたん」の栽培加工について高度な技術を学びながら、校区の文化祭などでの展示や地域の子どもたちに栽培指導するなど地域の文化交流に取り組んでいる。

「ふるさと豊橋いちばん認定者」※敬称略

・豊橋地域の地図上にある全道路を徒歩にて踏破した人

山下耕市(71歳・幸校区)
・JR全線の完全乗車を成し遂げた人

中村実(58歳・羽根井校区)
・日本列島縦断(旧街道)を徒歩にて踏破した人
矢嶋伸行(64歳・幸校区)

「市民の日」一日長の皆さん※敬称略

市民の方にそれぞれの長を体験していただき、行政などをより身近に感じていただく機会とします。

- 一日市長 田中アルシーデスヒデオ(47歳・NPO法人ABT豊橋ブラジル協会理事長)
- 一日市議会議長 渥美裕貴(17歳・豊橋商業高等学校3年生インターアクトクラブ副部長)
- 一日商工会議所会頭 有賀美明(21歳・豊橋技術科学大学情報工學課程3年生)
- 一日警察署長 市川大地(20歳・愛知大学経済学部3年生)
- 一日駅長 柴田裕衣(22歳・会社員)
- 一日郵便・支店長 請井友紀子(17歳・藤ノ花女子高等学校3年生演劇部部長)